

やさしく かしく 元気よく



# 松原小だより



〒365-0043 鴻巣市原馬室2425番地

TEL:048-542-8450 <https://matubara-e-konosu.edumap.jp/>

松小 HP  
毎日更新中！

児童数 431名(令和7年8月29日現在)

9月号

## 「節目」を大切にする ～松原小創立50周年の思い～

校長 寺島 麗王馬

例年以上の酷暑、そして急な豪雨や雷など、異常気象を実感する夏となっていますが、本日から2学期がスタート。子どもたちの声や笑顔が校舎に戻り、「いよいよ始まったなあ」と身が引き締まる1日でもあります。

さて、すでにご案内の通り、11月29日(土)の午後、本校の創立50周年記念式典を実施いたします。昭和51年4月に、児童数458名・14学級で産声をあげた松原小ですが、校舎が竣工前であったため、当初は鴻巣南小(123名)と馬室小(335名)にて授業が行われ、運動会も旧馬室中の校庭にて実施されました。1月末にようやく新校舎が竣工し、2月12日に新校舎に移転、同14日に授業ならびに給食が開始されました(このことから2月14日が開校記念日となっています)。



竣工当時の校舎

それから今年で50年の月日を数え、昨年度までの卒業生は4681名にのびります。今、このたよりをお読みいただいている方の中にも、本校を卒業された方(OB・OG)がたくさんいらっしゃると思います。歴史を築かれてきた先輩方に今の松原小はどう映っているでしょうか、そしてこれからの松原小にどんなことを期待されているでしょうか。この50周年の節目に、脈々と受け継がれてきた伝統や校風、地域とともに成長してきた子ども達、そして同級生や先生に思いを致すことはとても大切なことであり、意義のあることだと考えています。それと同時に、次代を担う子どもたちが主役となり、次の50年に向けて、どんな橋を架けていけるか、その新しい一歩を踏み出すタイミングでもあるのでしよう。

小学校という場所は「子どもの心身の成長」が何よりの存在意義ではありますが、一方で地域にとっての心の拠り所であったり、世代を超えたコミュニケーションの場であったり、子どもの健やかな成長を願い老若男女が関わる場であることも、大きな存在意義であると思います。そして松原小が、地域の皆様や保護者の皆様の熱い思いや期待が伝わってくる、「地域に愛される学校」であることを、その託された責任の重さとともに日々感じています。

これまでの50年に思いを馳せ、そしてこれからの50年に向けて一歩を踏み出す、そんな「節目」を大切に、松原っ子が日々の学校生活や様々な学校行事を通して、それぞれの思いを表現していく、そんなR7下半期にしていきたいと思っています。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

### 『MATSUBARA-SYO クロニクル』を発信します

松原小の50年を振り返り、様々な切り口から変遷をたどる学校HPコーナーを開設します。不定期更新となりますが、松原小のクロニクル(年代記)を辿る、「温故知新」の場にしていきたいと思っています。日々のブログとともに、今年度限定の新コーナーをぜひご覧ください。



【体育館～正門方面】

## ～防災意識を高めていく月に～

7月30日にカムチャツカ半島付近で発生した大地震。日本各地にも津波の影響を及ぼし驚かされたところです。



1923年の関東大震災を教訓とすべく制定されたのが、9月1日の「防災の日」。本校でも2日（火）に震度6の地震を想定した避難訓練を実施いたしますが、訓練を形骸化させず、繰り返し真剣に行うことが、命を守る行動につながると考えています。そして学校では大地震の際、「安全に保護者等に引き渡す」ことを最優先いたします。5月の訓練の際にもお伝えいたしましたが、**震度5弱以上（気象庁発表・鴻巣市）**で保護者等（引渡しカードに記載された方）への引渡しを行います。eメッセージによる連絡も行う予定ですが、通信手段が遮断される場合もありますので“5弱以上で学校へ”を意識いただければと思います。また、以下の2点も十分ご留意いただきますようお願いいたします。

◆回線が限られているため、学校への個別の電話は行わない（緊急電話を優先するため）

◆引取りに来校する際は、車を使用しない（付近の混雑緩和・緊急車両の通行・交通事故防止）

また、2011年の東日本大震災は14時46分に発生しており、ちょうど低学年の下校時間にあたっていました。そのような時間帯に地震が起こった場合、地域の皆様にはご家庭の安全を確認した後に、通学路付近の見守りをお願いできれば幸いです。いつ起こってもおかしくない大地震、「子どもたちの命」を守るため、学校・家庭・地域で防災意識を高めていきましょう。